

花物語通信

NO.44

10月のピックアップ

- ★ハーバリウムの講座のご案内
フラワーアート・ランチ講座
季節の花を愛でながらSABO2006の一品
- ★開業25周年記念イベント
『粋な吉祥華舞台』への誘い
～落語の魅力～
- ★連載「胡蝶蘭のささやき」
- ★「ラストサマーin花物語」開催御礼
- ★恒例お楽しみクイズ

2017年 10月号



信州の短い夏も終わり、真っ赤に彩る彼岸花をはじめとする秋の花々が咲く季節になりました。外を歩くどこかの庭から、フワッとキンモクセイの香りが漂ってきます。キンモクセイの言葉は、「あなたの気を引く」。それは「私はここ」と、甘い強い香りですばを通る人に伝えるかのようですね。

さて、過ごしやすくなったこの頃は、庭の植込みに良い時期でもあります。秋に植えた植物は冬の寒さをこらえ、春に見事な花をつけます。大地にしつかりと根を張り、春を待つ。花々のけなげさの中にも生命の強さを感じます。今年はどうなお花を植えようかしらと迷いましたら、仕事運には「赤」、金運には「黄色」とそれぞれ運氣アップの色がありますので、試してみたいかがでしょうか。

花屋の店先はひと足早い「秋」の到来。野の花を摘むように秋の花々をお家に連れて帰りませんか？

今人気のハーバリウムの講座のご案内
フラワーアート・ランチ講座
季節の花を愛でながらSABO2006の一品

この秋、花物語と、弊店のお隣に立地する人気のレストラン「SABO2006」と念願のコラボレーションが実現いたします。花物語の2階のカルチャースペースでフラワーアートとして人気のハーバリウムのワークショップの後、SABO2006さんへ移動、今回のための限定特製オリジナルメニューのランチを心ゆくまで堪能いただくスペシャルな企画です！記念すべき第1回目は、ハーバリウム十ハロウィンアレンジ講座を予定しております。食のテーブルを飾る、思い思いの素敵なハーバリウムを製作してみませんか？

- 日時 10月26日(木) 午前11時～(2時間程度)
- 場所 花物語 2Fカルチャースペース
TEL 0269・26・1122
- 参加費 一人3,500円(税込)
※ランチ、講習含む
- 申込み SABO2006
※お持ち帰り用の紙袋等をご持参ください。
TEL 0269・22・3035
または 花物語 TEL 0269・23・2380

《事前申込み チケット制》

定員となり次第締切とさせていただきますので、どうぞお早めにお申し込みください。



【ハーバリウムとは】
ガラス瓶の中にプリザーブドフラワーやドライフラワーなどの乾燥処理をした植物を入れ、専用のオイルや防腐剤などに浸して保存したもの。飾る場所を選ばないでインテリアやプレゼントに只今人気上昇中。

開業25周年記念イベント
『粋な吉祥華舞台』への誘い
～落語の魅力～

巷では空前の「落語ブーム」。最近では、こちらで「寄席」という文字をよく目にします。ずっと同じ場所に座って話を聞くのはどうかと、敬遠がちにホールの扉を開けてみると、そこには老若男女、様々な人が席を埋め尽くし、皆同じところで笑い、同じところで相づちを打つ。そんな姿に自身も引き込まれていきます。果たして、言葉と体現でこれだけ空想させる技量：それぞれの年代・性別を超えて、同じ笑いを感じあうものがあつたらうかと感心します。そこには、緻密な計算のもとに成立する大胆な琴線への仕掛けがあるのでしよう。特に今回ご登場いただくゲスト「二遊亭竜楽」氏は、海外でその国の言葉を使い、その国の文化と生活感を理解した上で人々を笑いの渦に巻き込む実力派。それだけ「落語」は判りやすく、「万国」人の心を掴むものなのですね。改めてその魅力をお伝えしたかった次第です。

- 今回花物語が25周年ということで、『花』にちなんだ小話も予定しています。会場いっぱいにあふれる笑い、素敵な歌声と、美味しい食と・美しい花の競演、1日限り、盛りだくさんの素敵なステージをどうぞお楽しみください。チケットも残りわずかとなりました。お申し込みはどうぞお早めに。
- 日時 10月14日(土) 午後6時開場 午後6時半開演
 - 場所 アップルシティーなかの
TEL 0269・26・1122
 - 会費 13,000円(税込) ※お食事、お飲物付
 - 申込み 花物語 TEL 0269・23・2380



連載
胡蝶蘭のそよばき
VOL.7

秋空が高く澄み渡り、爽やかな気分を高めてくれる季節になりました。青々と茂っていた草木の色合いにも、秋の深まりを感じるようになり、周りの野山も暖かみのある秋色に、少しずつ染まっていますね。

色は、私たちの生活に密に関わっています。あなたのお好みの色は、何色でしょうか？好みは人様々です。胡蝶蘭を選ばれるお客様も、まず色を悩まれます。気品あふれる白、優しいピンク、紫は高貴で高級感がありますね。珍しい黄色も人気です。中でも、『フーラーサンセット』という品種は、鮮やかな黄色の花びらに夕日のような赤いリップが明るい印象を与えてくれます。胡蝶蘭を贈り物として選ばれる時、先方のことを思いその方に合ったイメージ、また様々なシーンに合ったものを考えると、より特別な贈り物になるでしょう。



「モノを贈る」ことは、「こころを贈る」こと。その先には、きつと素敵な笑顔の花が咲くことでしょう。

(記 吉田智子)

「ラストサマー in 花物語」
開催御礼

夏もそろそろ終わりを告げる8月26日、「花物語」店舗の中と外で初めて開催した「ラストサマー in 花物語」におきましては、大変多くの皆様のご参加をいただき、盛大に開催できましたこと心より御礼申し上げます。

今回こうした催しは、過ぎゆく夏を彩り豊かに粋に愉しむをテーマとして、素敵な花々の中で美味しい信州の食を新しいお仲間と共に楽しんでいただければと企画、当日は予想を上回る40名余りの皆様と共に愉しませていただきました。

連日続いていた夕方の豪雨も、その日はかりは晴れわたり、店内の花々に浴衣姿が更なる彩となり、普段の店内と違った「花と食の風景」を感じていただけたのではないのでしょうか。

抽選会あり、フラワーパフォーマンスあり、と笑顔溢れる催しに、また、来年も！という嬉しいお声もいただきました。今回残念ながらご来場いただけなかった皆様も、次回をお楽しみに。



恒例!

お楽しみクイズ

Q 10月16日は何の日?

- 1 体育の日
 - 2 ポスデー
 - 3 目の愛護デー
- 【前回のクイズの答え】
- ① 長寿

ミリアンパンブーの花言葉は、「長寿」「開運」「幸福」。この花言葉通り縁起の良い観葉植物なので個人的なプレゼント以外にも昇進や開店、開業など祝い事の贈り物にオススメです。ちなみに、ミリアンパンブーは縁起物として中国や台湾では神棚に祀るそうです。しかも園芸初心者でも、大変育てやすいのでオススメです。耐陰性なので直射日光を避けカーテン越しの光で育てることが出来ます。花は滅多に咲かない植物ですが、5〜10年に一度、白い花をつけるそうですので、咲いたらますます縁起が良くなりそうですね。

正解1回につき
ポイント進呈
ポイント3つで
「豆手ぬぐい」
プレゼント

編集後記

平成4年10月1日、西町・商工会議所前で「まちの小さなお花屋さん」として産声をあげ早25年。開店祝にと手づくりでオーブンのチラシを作っていたとき、開店初日に仕入れた花が全て売切れるという嬉しい悲鳴をあげたことが、つい昨日のこのように思い起こされます。多くの皆様に支えられご愛顧いただき、この年月を共に歩ませていただきました。時は流れ、時代の変化に花屋のあり方も変化し、受注型から提案する店としてスタッフメンバーも入れ替わり、この度晴れて25周年の記念催事を開催する運びとなりました。毎年当店が発信している数々のイベントとは違った、いわゆる25周年の集大成として、今日まで「洋」の発信が主流だった花提案を『原点回帰』と題し、日本文化の代表格である落語・甚句の第一人者をお迎えし、「和」を堪能していただくステージを企画するという願いが叶いました。私たちが今後めざす花屋の「カタチ」の一コマ。そんな今回のステージをぜひお楽しみに。